

タスクウォッチ・マネージャー

TASK WATCH MANAGER

目次

1	はじめに	2
2	システムの起動	3
3	タスクウォッチの接続	3
4	初期設定（マスター登録）	5
4-1	機械登録	5
4-2	乗務員登録	6
4-3	工区登録	7
5	新規作成	8
5-1	データの取得	8
5-2	データの読み込み	8
5-3	取得データの表示	8
5-4	稼働時間の編集	9
5-5	日報印刷	9
5-6	保存	10
6	計測準備	11

1 はじめに

タスクウォッチ・マネージャーとは

タスクウォッチ・マネージャーとは、TASK WATCH の設定、データ読み込み編集と表示を行うユーティリティです。

バージョンの確認

タスクウォッチ・マネージャーのバージョンはステータスバーで確認できます。

©2016 SRIC Corporation Software Version 1.0.1

TASK WATCH の接続

タスクウォッチ・マネージャーは TASK WATCH の接続を自動的に検出しますので、タスクウォッチ・マネージャーの起動に関わらず接続できます。

接続せずに使用することも可能です。なお複数の TASK WATCH は同時に接続できません。

TASK WATCH の接続の接続状況はスタートメニュー画面の接続アイコンで確認できます。



対応 OS

タスクウォッチ・マネージャーは Windows7 (32/64bit) 専用のアプリケーションです。

2 システムの起動

デスクトップのショートカットアイコンからシステムを起動します。



トップ画面が表示されます。

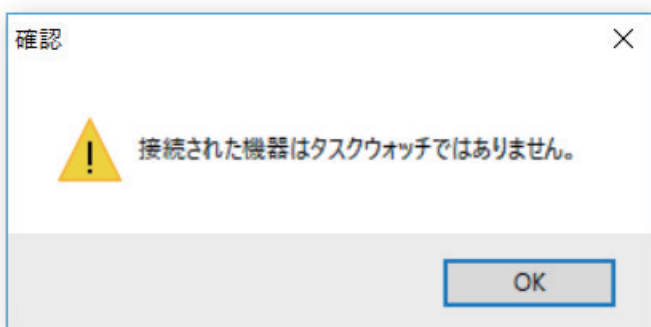


3 タスクウォッチの接続

付属の USB ケーブルを使ってタスクウォッチをパソコンに接続します。
接続が成功すると「接続完了」が表示されます。



※注：タスクウォッチ以外の製品を接続すると以下のメッセージが表示され、データ読み込みできません。



4 初期設定（マスター登録）

あらかじめマスター登録を行っておくと、機械名や乗務員名などをリストから選択可能になり便利です。



4-1 機械登録

[追加] ボタンをクリックして登録します。

※集計を行う場合、車両番号または管理番号のいずれかに入力が必要です。

なお、入力は車両番号・管理番号のどちらかに統一してください。統一されていない場合、正しく集計されませんのでご注意ください。

4-2 乗務員登録

[追加] ボタンをクリックして登録します。

氏名	運転手	助手
----	-----	----

Buttons: 追加, 削除, 編集, OK, キャンセル

[追加] ボタンをクリックして登録します。

氏名

運転手に加える
 助手に加える

Buttons: OK, キャンセル

運転手として/助手として/あるいはその両方として、どの区分に追加するかをチェックを付けて選択します。

4 - 3 工区登録

工区登録

登録されている工区

工区名	機械名	車両番号	管理番号	運転手	助手	機械識別

追加
削除
編集

OK
キャンセル

[追加] ボタンをクリックして登録します。

工区追加

工区名称

機械名称 ▼

車両番号 管理番号

規格・型式

運転手 ▼

助手 ▼

コード

OK
キャンセル

先に機械登録と乗務員登録が済んでいると、機械名称・運転手・助手がリストから選択可能です。

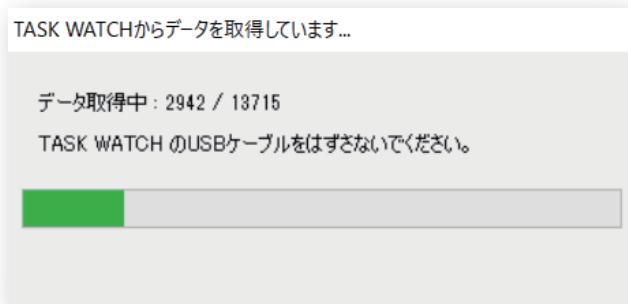
5 新規作成

5-1 データの取得

タスクウォッチをパソコンに接続し、データ取得
日報新規作成 をクリックします。

5-2 データの読み込み

タスクウォッチに保存されているデータの読み込みが自動的に開始されます。



※注意

データの読み込みが完了しても、まだタスクウォッチをパソコンから外さないでください。
次の測定準備を行う操作が必要です

5-3 取得データの表示

書類作成・編集画面が表示されます。

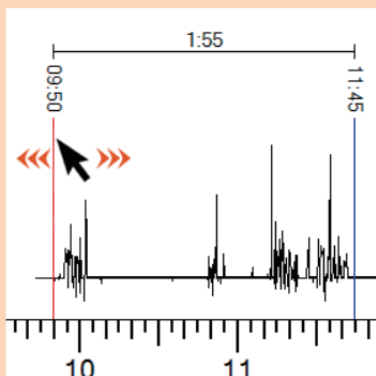
業者名や機械情報、作業別の路線名・作業内容など、日報に記載が必要な情報を入力します。

5-4 稼働時間の編集

稼働時間の編集はマウス操作で簡単に行えます。

入力画面を開いたときに表示される下図の説明をご参考ください。

◆グラフ上の赤線/青線をマウスで操作して、作業時間を編集する事が可能です。



線の移動・・・マウスでつまんで移動（ドラッグ）

線の追加・・・任意の場所でマウスクリック
赤線・青線の順【ESCキーで途中キャンセル】

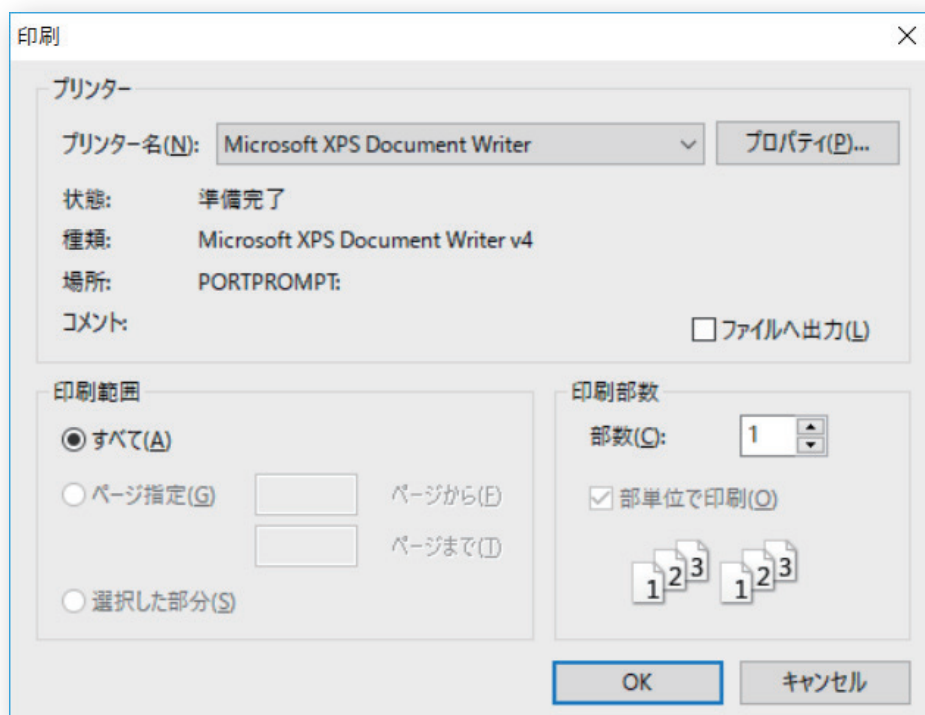
線の削除・・・Shiftキーを押しながらマウスドラッグで
線を（複数）選択後、Deleteキーで削除
線を右クリックしてメニューからも削除可能

※赤線/青線を編集すると画面下の稼働/非稼働時間の表も連動して変更されます。

5-5 日報印刷

入力が完了したら **日報印刷** をクリックして日報印刷を行います。

印刷するプリンターを選択します。



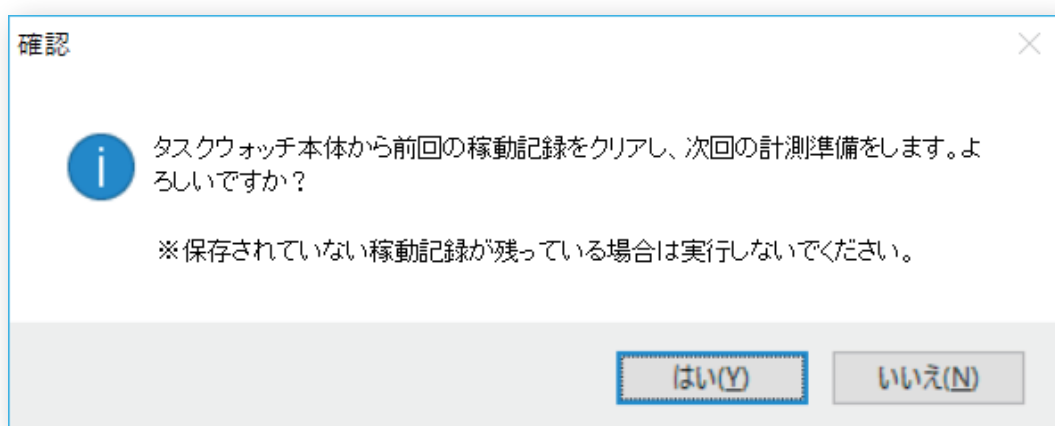
6 計測準備

データの取込みが終わったタスクマネージャーの記録データを初期化し、次回の計測準備を行います。

※この操作を行わないと、次の計測をスタート出来ません。

トップ画面で **計測準備** をクリックします。

確認メッセージが表示されるので、よろしければ [はい] をクリックします。



このメッセージが表示されたら USB ケーブルを外してください。

